

2024年3月期 第2四半期 決算短信補足資料

2023年10月31日(火)

【名証メイン市場】 証券コード:6111

 旭精機工業株式会社

売上高は、主に精密金属加工品及びプレス機械の売上が減少したことから、前年同期比▲2.7%の57億4千万円となりました。

()は前年同期比

精密金属加工品：17億5千2百万円(▲10.1%)

✓ 水晶振動子関連を中心に、減少

小口径銃弾：6億7千万円 (▲12.3%)

✓ 政府の予算執行を受け、減少

プレス機械：26億5千万円 (▲5.1%)

✓ 納品時期等の関係により、減少

ばね機械：3億5百万円 (+63.9%)

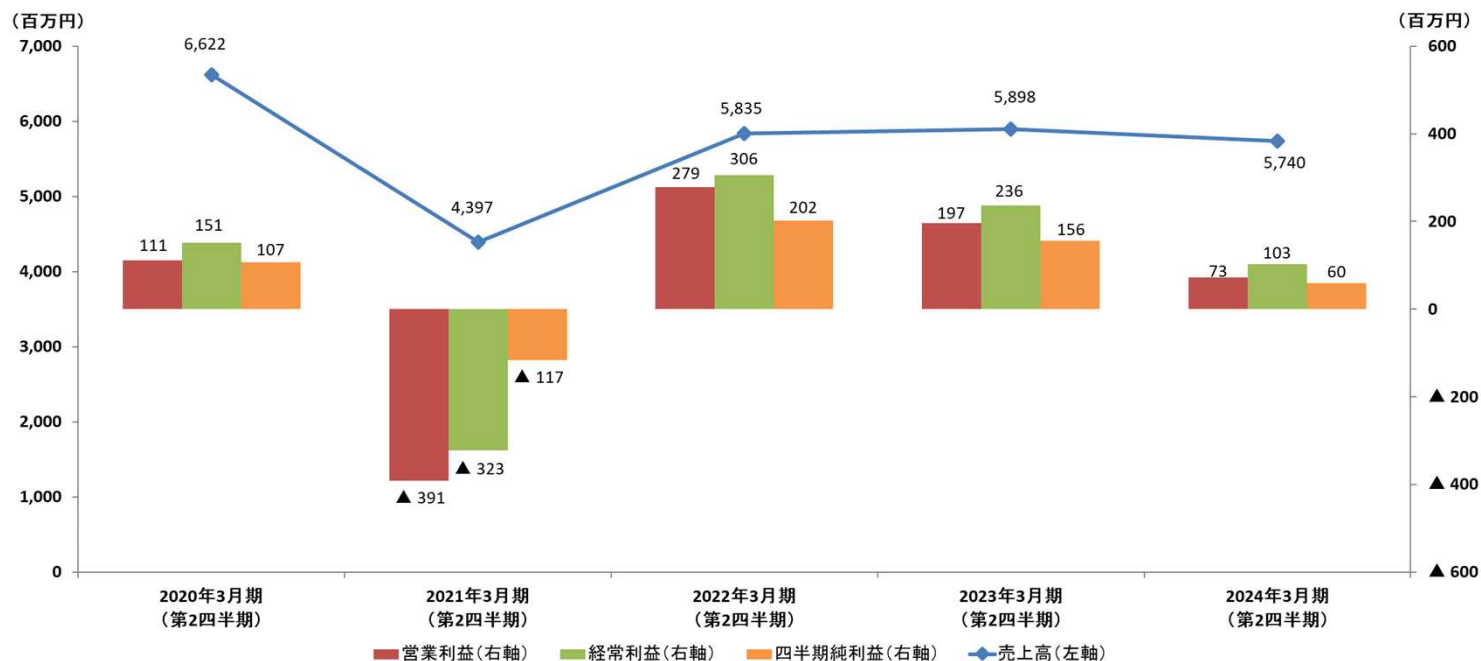
✓ 大型機種の上等により、増加

自動機・専用機：1億5千5百万円 (▲16.5%)

✓ 小型機中心の売上構成になったため、減少

第2四半期の売上高・利益推移

(単位:百万円)	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)	2023年3月期 (第2四半期)	2024年3月期 (第2四半期)
売上高	6,622	4,397	5,835	5,898	5,740
営業利益	111	▲ 391	279	197	73
経常利益	151	▲ 323	306	236	103
四半期純利益	107	▲ 117	202	156	60

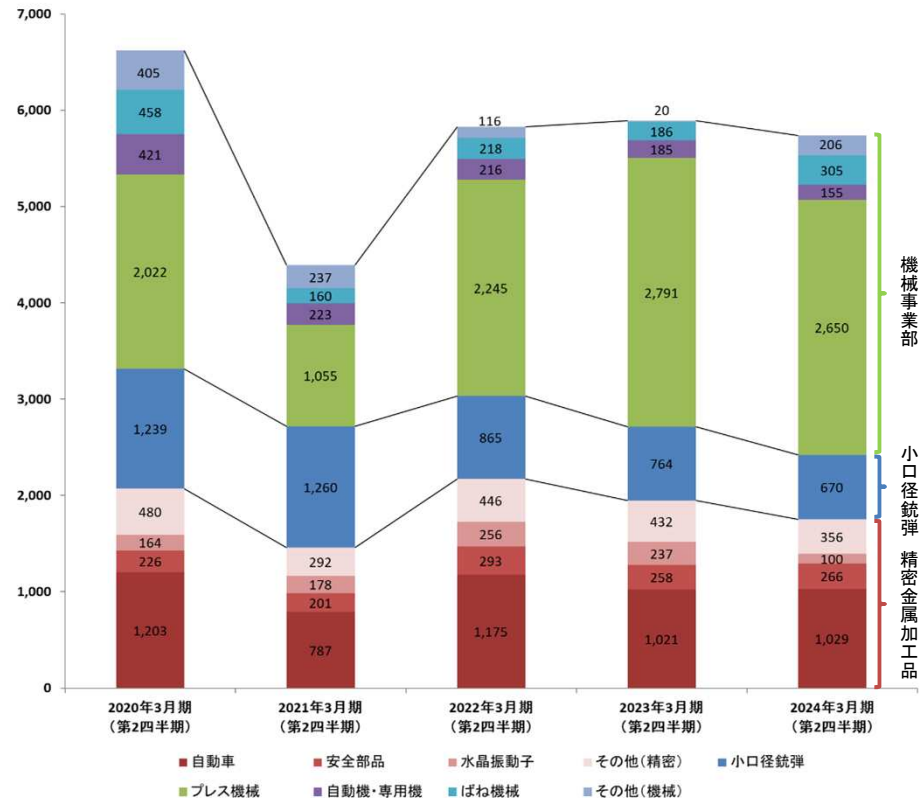


第2四半期のセグメント別売上高推移

(単位:百万円)

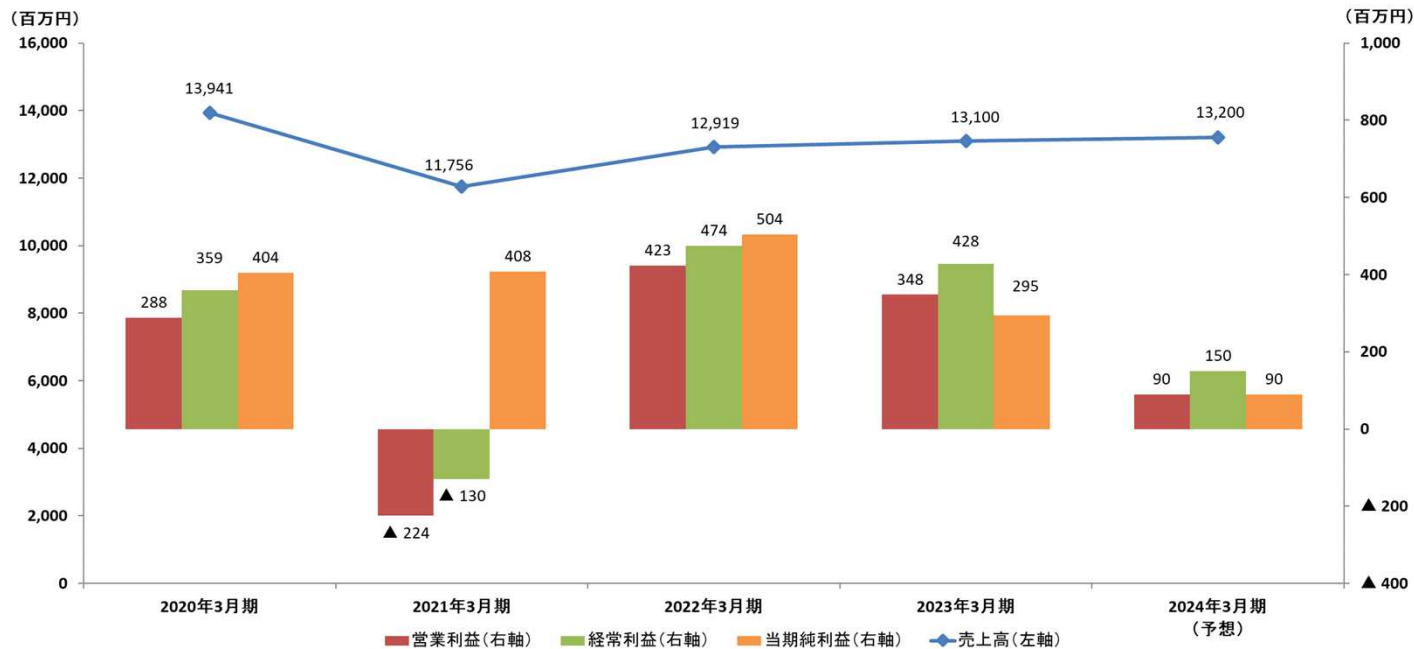
	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)	2022年3月期 (第2四半期)	2023年3月期 (第2四半期)	2024年3月期 (第2四半期)	前年比
精密加工事業部	3,314	2,719	3,038	2,714	2,422	▲ 10.7%
精密金属加工品	2,074	1,459	2,172	1,949	1,752	▲ 10.1%
自動車	1,203	787	1,175	1,021	1,029	0.8%
安全部品	226	201	293	258	266	3.1%
水晶振動子	164	178	256	237	100	▲ 57.7%
その他(精密)	480	292	446	432	356	▲ 17.6%
小口径銃弾	1,239	1,260	865	764	670	▲ 12.3%
機械事業部	3,308	1,677	2,797	3,184	3,317	4.2%
プレス機械	2,022	1,055	2,245	2,791	2,650	▲ 5.1%
自動機・専用機	421	223	216	185	155	▲ 16.5%
ばね機械	458	160	218	186	305	63.9%
その他(機械)	405	237	116	20	206	930.0%
合計	6,622	4,397	5,835	5,898	5,740	▲ 2.7%

(百万円)



通期の売上高・利益推移及び予想

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
売上高	13,941	11,756	12,919	13,100	13,200
営業利益	288	▲ 224	423	348	90
経常利益	359	▲ 130	474	428	150
当期純利益	404	408	504	295	90
1株当たり 当期純利益	167円73銭	169円71銭	207円64銭	118円78銭	36円16銭

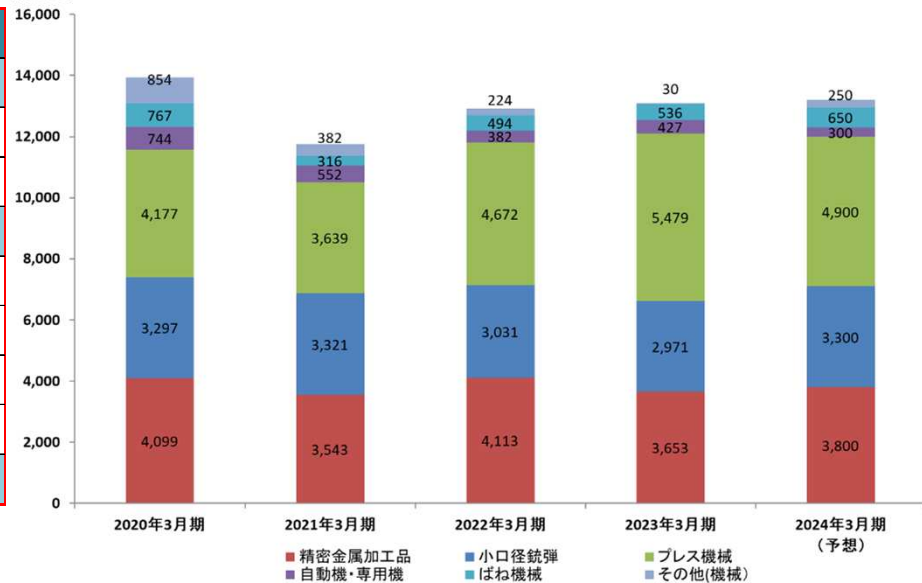


通期のセグメント別売上高推移及び予想

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	前年比
精密加工事業部	7,397	6,865	7,145	6,625	7,100	7.2%
精密金属加工品	4,099	3,543	4,113	3,653	3,800	4.0%
小口径銃弾	3,297	3,321	3,031	2,971	3,300	11.1%
機械事業部	6,544	4,891	5,774	6,474	6,100	▲ 5.8%
プレス機械	4,177	3,639	4,672	5,479	4,900	▲ 10.6%
自動機・専用機	744	552	382	427	300	▲ 29.7%
ばね機械	767	316	494	536	650	21.3%
その他(機械)	854	382	224	30	250	733.3%
合計	13,941	11,756	12,919	13,100	13,200	0.8%

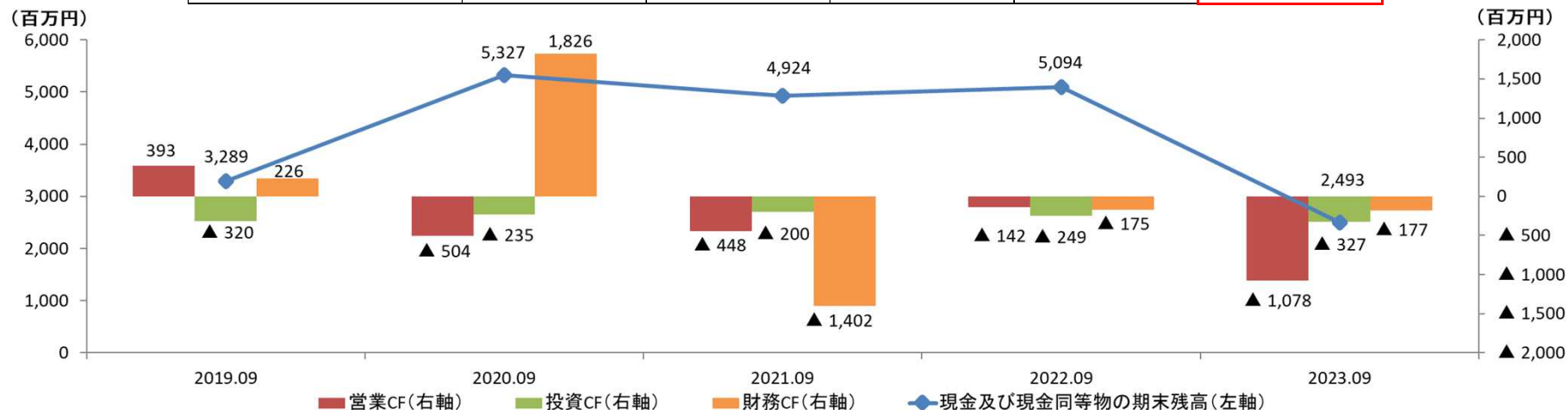
(百万円)



第2四半期のキャッシュ・フロー推移

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	393	▲ 504	▲ 448	▲ 142	▲ 1,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 320	▲ 235	▲ 200	▲ 249	▲ 327
財務活動によるキャッシュ・フロー	226	1,826	▲ 1,402	▲ 175	▲ 177
現金及び現金同等物の期末残高	3,289	5,327	4,924	5,094	2,493



キャッシュフロー状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は24億9千3百万円 前期末比 15億8千万円減少

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、減価償却費で3億1千1百万円計上したものの、仕入債務の減少で8億8千万円及び棚卸資産の増加で4億1千7百万円減少。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、有形固定資産の取得により2億9千3百万円支出。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

✓ 前期末より主に、配当金で1億7千3百万円支出。

財政状態及び設備投資・減価償却費の推移

財政状態の推移

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (第2四半期)
総資産	18,502	20,599	20,140	20,460	19,687
純資産	12,550	12,899	13,560	13,617	13,926
自己資本比率	67.8%	62.6%	67.3%	66.6%	70.7%
1株当たり純資産	5,207円56銭	5,353円44銭	5,448円11銭	5,471円65銭	5,595円90銭

資産、負債及び純資産の状況

(総資産) : 196億8千7百万円、前期末比▲7億7千3百万円

✓ 主に、仕掛品が7億1千5百万円、投資有価証券が5億7千3百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が15億8千万円、受取手形及び売掛金が3億8千6百万円それぞれ減少

(負債) : 57億6千万円、前期末比▲10億8千2百万円

✓ 主に、電子記録債務が8億4千9百万円、支払手形及び買掛金が1億2千2百万円それぞれ減少。

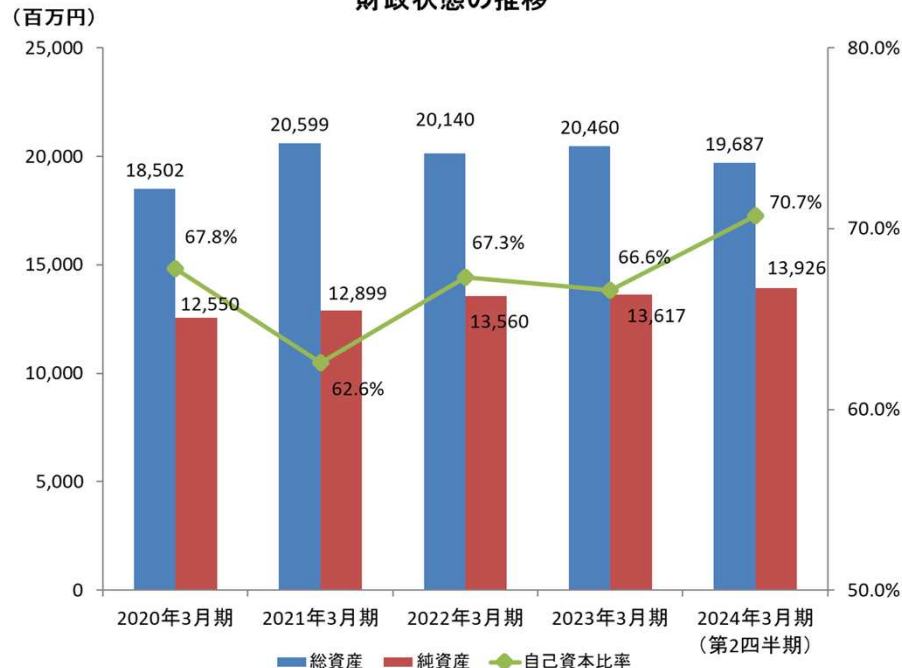
(純資産) : 139億2千6百万円、前期末比+3億9百万円

✓ 主に、その他有価証券評価差額金が4億2千2百万円増加。

設備投資(工事ベース)・減価償却費の推移及び予想

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
設備投資	995	599	374	825	950
減価償却費	814	818	783	697	687

財政状態の推移



Topic 1. 創立70周年記念

(社長 ご挨拶)

当社は2023年8月11日をもって創立70周年を迎えました。創業期から会社を支えていただいた諸先輩方をはじめ、今を支えていただいている現役社員の皆様、取引先各位、当社事業運営に関わっていただいている全ての皆様に厚く御礼申し上げます。70周年を新たなスタートとして、80周年さらには100周年に向け、会社の更なる発展を目指し、これからも不断の努力と挑戦を続けて参る所存であります。引き続き、皆様のご支援ご厚情を心からお願い申し上げます。



Topic 2. MF-TOKYO2023へ出展

7月12日～15日に東京ビッグサイトにおいて、『MF-TOKYO2023』に出展いたしました。当社からは、ばね機械を中心とした最新モデルの4機種に加えIoT・プレス関連ブースを設け、機械事業部の製品・サービスについて幅広く展示しました。

【主な展示】

- ① T2: 今後もEV関連事業をメインに急速に普及が予想される**バスパー***の成形を実演。
- ② C2: 過去最大数のサーボコントロールにより、セット時間の大幅削減と驚異的な再現性を実現した最新コイリングマシン。若手への技術伝承が難しいと言われる現代の製造業へ一石を投じ、**来場したスプリングメーカーより多大なるご評価。**
- ③ IoT・プレスブース: 当社が掲げるアルファノマスの実現に向けて生産現場における稼働状況の把握、機械不具合の検知システムについての展示を行い**未来型の生産現場への取り組みについてご紹介。**

*バスパー: 銅などを用いた導体棒。大容量の導電が可能でEV関連で需要拡大見込み。



(当社ブースの様子)



(展示機:C2)

Possibility

Technology opening up new possibilities

旭精機工業株式会社

IRに関するお問い合わせ先
旭精機工業株式会社 経営企画・IR室
TEL: 0561-52-5356

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。